

玉成保育専門学校2024年度学校関係者評価報告書

1.教育理念・目的・人材育成

本学園の建学の精神であるキリスト教的人間観と普遍的な愛の精神に基づき、あたたかな目と心を持った保育者を育成している。これについては、同じ建物内にある幼稚園・保育園の子どもたちと「共に育つ」という貴重な経験に寄与するところが大きい。教職員は「質の高い保育を追求し、主体性を持ち、多様な人々との協働から学ぶことのできる人材」を育てるという使命を理解し、指導に取り組んでいる。学生、保護者はもちろんのこと、外部に対しても学校の理念、教職員の取り組みについて、今まで以上に発信し、理解してもらうことが望まれる。

2.学校運営

理事会の運営方針については、適宜教職員に伝えられている。また、教育活動における情報公開は、ホームページにて適切に行われている。
事務処理を効率的に行うために、教務において意思決定できるリーダーの配置が望まれる。

3.教育活動

学生個々の能力差があるため、「あなた」の育ちを大切にしていくという方針で教育活動を行ってきた。今後も、丁寧な個別指導、少人数での指導を増やしていく。
日常的に子どもたちの姿を見ることができるといい条件を活かし、それを確実に実習指導へとつなげている。

4.教育成果

卒業生全員が幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得し、9割以上の学生が、子どもに関わる仕事に就いている状況は、良好な学習成果として評価できる。2年間でこの2つの資格を取ることは努力が必要なため、常に学生の想いに寄り添い、その都度学生と向き合い話し合いをしてきている。今後も、学生の意思を尊重しながらの対応を期待する。

5.学生支援

校風として家庭的であり、学生一人ひとりを大切にしていることが見て取れる。また、保護者の行事参加率が高くなっていることを活かし、保護者との連携をさらに強化し、学生を支援していくことが望まれる。

6.教育環境

今年度もホームカミングデーには沢山の卒業生が集まった。この機会に玉成会(同窓会)と連携し、近々の卒業生のみならず往年の先輩方の参加を促し、ひいては、玉成保育専門学校の応援団としてつながり、協力してもらえようとしている。

7.学生の受け入れ募集

学生募集活動はホームページやSNSの発信など創意工夫し、努力していることが確認できた。それに併せて、高校教員との関係性を構築し、高校生に本校を周知するために、教職員全員での高校訪問実施の継続が望まれる。

8.財務

学園全体の財務基盤は安定している。ただし、経常費補助金のある大学とは異なり、学生の納付金が収入主体である専門学校の特徴からみても、学生の確保が課題である。募集への取り組みは高く評価するが、引き続き課題解決に向けた努力に期待する。

9.法令等の遵守

ホームページで必要な情報を公開し、法令、専修学校設置基準を遵守し、適正に運営している。

10.社会貢献・地域貢献

「ソフィア学びの泉」として講演会を実施し、学園の保護者だけでなく、地域の方々にも公開している。参加者を募るためには、チラシ、ホームページ、SNS、ロコミ等に、一層の工夫を期待する。
学生は西荻地域区民センター協議会と連携し、ボランティア活動に積極的に参加している。